



楽しさいっぱい、

はじめての

# クラシック 音楽



## 目次

- 2 ようこそ、クラシック音楽の世界へ
- 4 クラシック音楽を知りたい!
- 6 クラシック音楽の歴史
- 7 クラシック音楽のジャンル
- 8 クラシック演奏のいろいろなかたち  
オーケストラ／室内楽／吹奏楽
- 12 クラシック音楽の楽器たち
  - 弦楽器 ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス
  - 木管楽器 ピッコロ／フルート／オーボエ／  
クラリネット／ファゴット／サクソフォン
  - 金管楽器 ホルン／トロンボーン／  
トランペット／テューバ
  - 打楽器 ティンパニ／小太鼓／  
大太鼓／シンバル
  - その他の楽器 ピアノ／オルガン／ハープ
- 20 クラシック音楽のおもな作曲家
- 22 コンサートへ行こう
- 28 石川県が誇るオーケストラ  
オーケストラ・アンサンブル金沢
- 30 クラシック音楽の名曲 20



ひやくまんさん  
金箔や輪島塗、加賀友禅など、石  
川県が誇る伝統工芸・文化をぎゅっ  
と詰め込んだデザインのキャラク  
ター。県の広告塔として、全身で  
石川の魅力をPRしています。

石川県観光 PR  
マスコットキャラクター  
「ひやくまんさん」も  
解説のお手伝いをするよ♪

# ようこそ、 クラシック音楽の世界へ

「クラシック音楽って何だか難しそう……」「クラシック音楽に興味はあるけれど、よく知らない」。そんなみなさんのために、この冊子では、クラシック音楽の歴史やジャンル、演奏で使われる楽器のほか、コンサートでのマナーなども分かりやすく解説しています。

石川県には、クラシック音楽を演奏する日本で初めてのプロの室内オーケストラ「オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)」(9、28 ページ)があります。また、県内には石川県立音楽堂などクラシック音楽のコンサートを開催できるホールがたくさんあります。

この冊子を活用して、そんな素晴らしい環境にある石川県で、クラシック音楽を身近に感じ、思う存分楽しんでください。

オーケストラ・アンサンブル金沢



# クラシック音楽を知りたい!

世界中で愛される音楽!

クラシック音楽の世界に一歩足を踏み入れる前に、そもそもクラシック音楽とは、どのような音楽なのか、またクラシック音楽を楽しむためのちょっとしたコツをお教えします。

## クラシック音楽とは?

西洋の音楽の中で、ロックやジャズなどのポピュラー音楽に対して、伝統的に演奏されてきた芸術的な音楽のことです。モーツァルトやベートー

ヴェン（21ページ）など過去の作品だけでなく、同じ考えに基づいてつくられていれば、現代の新しい作品もクラシック音楽に含まれます。

歌で神様を称えていた、約1500年前の中世の音楽からが対象となりますが、よく演奏されるのは、約500年前のルネサンスから、バロック、古典派、ロマン派までの時代（6ページ）の音楽です。



モーツァルト（左）と  
ベートーヴェン（右）

## クラシック音楽の魅力って

どうしてクラシック音楽が愛され続けるのでしょうか。それは、何百年にもわたって、数多くの作曲家や演奏家が試行錯誤をくり返し、得られた知識や経験が、作品へ層となって織り込まれているからです。

だから、たとえ同じ作品でも、演奏する人により、さまざまな感じが出ます。また、きく人によっても、感じがたが異なり、さらにきくたびに、感じがたが変化することもあります。何百年という時間の折り重なりは、クラシック音楽に、そんな複雑さと深みを与えてきました。



## み ぢか 身近でクラシック音楽に出会ったら



「ああ、いいメロディだなあ」。コンサートで、気に入ったクラシック音楽に出会うことは、珍しくありません。そんなとき、コンサートプログラムを見れば、作曲家も曲名も、すぐに分かりますね。

でも、もしラジオやテレビのCM、あるいは街角で、気になるメロディに出会ったら……。まわりに音楽に詳しい人がいれば、その人にメロディを伝えてきてみるのもいいですね。また、いまではインターネットで曲を試聴できるウェブサイト\*もあるので、パソコンなどを使って調べることができますね。

ほんの少しがんばって、クラシック音楽について調べてみてください。そこにはこれまで知らなかった新たな世界が、広がっているはずですよ。

\*「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」 <http://ml.naxos.jp/>

# クラシック音楽のジャンル

それぞれのちがいをきいてみよう！

クラシック音楽は、演奏のかたちのちがいなどでジャンル分けをしています。

演奏会に行ったり CD をきいたりするときに分かったら、もうあなたは

クラシック音楽通かも？ 各ジャンルの名曲は 30 ページに載せています。

## 交響曲 Symphony

オーケストラの音楽で、最も重要なジャンル。18 世紀に原形ができました。基本的には 4 つの楽章で成り立ち、それぞれの楽器の音色のちがいを生かした立体的な響きが特長です。

## 協奏曲 Concerto

「ソリスト」とよばれる 1 人の演奏者が、オーケストラによる伴奏で、美しい音や優れた技術を披露する曲。3 つの楽章が基本ですが、ソリストが 2 人以上いることや、楽章の数が増減することもあります。

## 器楽曲 Instrumental music

本来は、「声楽曲」に対して楽器だけで演奏される音楽のことを指します。しかし、ジャンルとして用いられる場合、特にピアノ曲に代表されるように、1 つの楽器だけで演奏される作品を意味することがほとんどです。

## 声楽曲 Vocal music

オペラ以外の、歌が含まれる音楽すべてを指します。1 人の歌手がピアノ伴奏で歌う「歌曲」から、合唱団と複数の独唱がオーケストラとともに演奏するものまで、さまざまな人数や楽器の組み合わせ、目的をもった作品があります。

## 管弦楽曲 Orchestral music

交響曲の枠に入らない、すべてのオーケストラの曲のこと。オペラの最初に演奏する「序曲」や、いくつかの曲が詰め込まれた「組曲」、物語や情景を音で表現する「交響詩」などが、これに含まれます。

## 室内楽曲 Chamber music

管楽器や弦楽器、ピアノなど、少人数の器楽曲による曲で、「弦楽四重奏曲」や「ピアノ三重奏曲」が代表的。ほかにも、いろいろな組み合わせがあり、1 つの楽器が入れかわるだけでも、ちがった響きになります。

## オペラ Opera

歌を中心とした演劇。登場人物の心情を表現する歌「アリア」が何曲か連なり、合間にセリフや、言葉をリズムに乗せて語る「レチタティーヴォ」がはさまれ、物語を進めます。多くは、オーケストラが伴奏します。

# クラシック音楽の歴史

クラシック音楽の流れを知ろう！

「クラシック」とよばれる音楽は、どんな歴史を経てきたのでしょうか。

同じころの日本の様子とあわせて、おもな歴史をたどりましょう。

年代	音楽史	日本史
古代 紀元前～ 5 世紀はじめ	ヘブライ（古代イスラエル）でユダヤ教の音楽が生まれる。ギリシャではピタゴラスなどが音楽理論（音階など）を探索。	倭国の女王・卑弥呼が邪馬台国を統治（2～3 世紀）
中世 5 世紀ごろ～ 15 世紀はじめ	1 つのパートからなるモノフォニー音楽が主流。グレゴリオ聖歌とよばれる宗教音楽が生まれる。	聖徳太子が活躍（574-622） 平安京遷都（794） 金閣寺建立（1397）
ルネサンス 15～16 世紀	複数のパートからなるポリフォニー音楽が盛んになり、宗教合唱曲が多く歌われる。	戦国時代に織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が台頭 前田利家、金沢入城（1583）
バロック 16 世紀末～ 18 世紀半ば	表現の自由度が広がり、合奏協奏曲、舞臺曲、変奏曲、受難曲などが演奏される。活躍した作曲家：J.S. バッハなど	江戸幕府が誕生（1603） 富士山大噴火（1707） 享保の改革（1716）
古典派 18 世紀半ば～ 19 世紀はじめ	形式を重視した音楽が発展。室内楽、交響曲、ソナタ、協奏曲などが演奏される。活躍した作曲家：モーツァルトなど	浮世絵師の葛飾北斎や東洲斎写楽が活躍 寛政の改革（1787）
ロマン派 19 世紀	個人の主観を重んじ、形式よりも自由な感情表現が特徴的な作品が多く生まれる。活躍した作曲家：ショパンなど	ペリー来航（1853） 明治維新（1868）
近代 19 世紀末～ 第 2 次大戦ごろ	音楽の基本だった「調性」を壊した無調音楽による新たな潮流が出現。活躍した作曲家：ドビュッシーなど	関東大震災（1923） 太平洋戦争（1941-45）
現代 戦後	電子音楽やミニマルミュージックなど、新しい技法を取り入れた音楽が登場。活躍した作曲家：武満徹など	テレビ放送開始（1953） 大阪万国博覧会（1970） 平成がはじまる（1989）

# クラシック演奏の いろいろなかたち

どんな編成があるのかな？

クラシック音楽は、楽器の種類や人数などのちがう、さまざまな

編成で演奏されます。長い歴史の中で、よく演奏され、一般的

となった編成のうち、おもなものを紹介します。

## オーケストラって

「いろいろな楽器を使った合奏」のことで、管楽器と弦楽器の両方の奏者がいるのが一般的です。言葉自体は、古代ギリシャの「器楽」や踊りのための空間「オルケストラ」からきています。バロック時代（6ページ）には多くても30人程度だったのが、次第に演奏する場所が広くなり、作曲家が書いた曲に必要とする楽器の数も増えて、19世紀以降は100人を超えるようになりました。

また、同じような編成でも、日本では「交響楽団」や「管弦楽団」など、さまざまなよびかたをする場合があります。ちなみに、「オーケストラ・アンサンブル金沢」は名前に「少し小さめの編成で、きめ細かい音楽をつくる」という想いが込められていて、「室内オーケストラ」とよばれる編成です。

## Orchestra オーケストラ



だ がっ き  
打楽器

18ページ  
へ

も っ か ん が っ き  
木管楽器

14ページ  
へ

げ ん が っ き  
弦楽器

12ページ  
へ

### コンサートマスター（コンサートミストレス）

ヴァイオリンの首席奏者（リーダー）を、コンサートマスターとよび、女性の場合はコンサートミストレスといいます。楽団全体のリーダーでもあり、演奏が始まる前には、音を合わせる基準の「ラ」を鳴らし、指揮者がいない場合、そのかわりも務めます。

### 指揮者

器楽合奏や合唱で、音楽の拍子や速度、強弱などを、身ぶりで指示します。タクト（指揮棒）とよばれる棒を使うのがふつうですが、使わない人も多くいます。同じ曲でも、指揮者による表現の差で、音楽の味わいがちがってきます。

き ん か ん が っ き  
金管楽器

16ページ  
へ

## Chamber music

## 室内楽

しつないがく  
室内楽って？

「室内」という言葉は、むかし、教会などの大きな空間に対して、王様や貴族の城の中にある小さな部屋のことを指しました。そんな場所できくのに向いた、2〜10程度の楽器による合奏が「室内楽」です。ヴァイオリンなどの弦楽器やフルートなどの管楽器、ピアノなどの鍵盤楽器、楽器同士で数えきれない組み合わせがあります。

王様たちにかわって、市民が主役となった19世紀からは、自分で演奏を楽しむ人が増え、かんたんできれいにきこえる曲も、たくさんつくられました。さらに、新しく発明された楽器や、時代ごとの流行や好みを取り入れ、さまざまな種類の曲が登場しました。

げんがくしじゅうそう  
弦楽四重奏

2つのヴァイオリン、1つずつのヴィオラとチェロ、計4人の弦楽器奏者による合奏です。通常は4つの楽章をもち、それぞれの楽器が独立を保ちながら、音楽をかたちづくっていきます。室内楽の中でも代表的な形式のひとつです。

さんじゅうそう  
ピアノ三重奏

ピアノ、ヴァイオリン、チェロによる合奏です。18世紀半ばに、ピアノの高音をヴァイオリン、低音をチェロで「補強する」との考えから始まりました。19世紀には、室内楽の重要なジャンルのひとつとなり、ピアノと弦楽器の音の出しかたのちがいを生かした、優れた作品が数多く生まれました。



## Wind ensemble

## 吹奏楽

すいそうがく  
吹奏楽って？

木管楽器と金管楽器を主体に、打楽器を加えた合奏のかたち、または、そのための音楽を指します。10人程度から100人をこえるものまで、その規模や編成はさまざまです。もともとは兵隊の行進を先導する軍楽隊が起源で、その歴史は、5000年前の古代エジプト時代にまでさかのぼるとされ、オーケストラをはるかにしのぎます。

なお、「ブラスバンド」はよく同じ意味で使われますが、正確には、金管楽器と打楽器だけで構成される合奏を指します。



もともとはヴァイオリンをやっていました。音は好きでしたが小さいのが不満で……。ヴィオラを持ったとき「あ、これだ!」と。温かい音色とフィット感(?)が好きです。

丸山萌音揮



音楽に深みを与える  
名わき役

## Viola ヴィオラ



楽器の形や弾きかたはヴァイオリンと同じですが、全長で10センチほど大きく、少し低い「中音域」を担当します。ヴァイオリンよりも低く、甘くて落ち着いた独特の音色は、室内楽やオーケストラの響きに厚みを与える、大事な役割をもっています。

## Cello チェロ

人間の声の高さに近い、優しい音

形はヴァイオリンとそっくりですが、倍ほどの大きさがあり、楽器を床に立てて、演奏します。ヴィオラよりもさらに1オクターヴ下で、「低音域」を担当。豊かで温かい音色は、楽器の中で「人間の声に一番近い」ともいわれます。

チェロの音色は、たとえるならば低音は落ち着いた紳士のよう。一方、高音はさえずる鳥のようです。豊かな音色できく人の心をおだやかにしてくれるチェロは、とても素晴らしい楽器です。

ルドヴィート・カンタ



## Contrabass コントラバス

演奏を支える、縁の下の方の力持ち

オーケストラの中で最も大きな楽器のひとつ。演奏するのが大変そうにみえますが、大事にあつかえばむずかしいことはありません。特に気をつけることは湿気です。

今野 淳



チェロよりも大きく、1オクターヴ下の音域を担当。立てて演奏し、ずっしりとした低い音を出します。実は、オーケストラの弦楽器の中で、これだけがヴァイオリンの仲間ではなく、ヴィオールという別の楽器の子孫。胴体の肩の部分の曲線に、そのなごりが残ります。



# クラシック音楽の 楽器たち

どんな音がするのかな?

クラシック音楽の楽器は、演奏のしかたや材質などで大きく

「弦楽器」「木管楽器」「金管楽器」「打楽器」などに分けられます。

個性的な楽器について、OEKの楽団員さんのコメントとともに

をご紹介します。

## Violin ヴァイオリン

オーケストラの花形楽器

オーケストラで一番多くの奏者がいて、中心的作用をはたします。輝かしい音色と、豊かな表現力が特長。

楽器を肩とあごではさみ、4本に張られた弦を指で押さえて、音の高さを変えながら、もう片方の手で持った弓ですって演奏します。

指で弦をはじく「ピチカート」や、弓の木の棒の側で弦をたたく「コル・レーニョ」など、特別な弾きかたもあります。

のびやかで華やかな高音、深みのある中低音など、小さな楽器から本当に多彩な音色が生まれます。そして、ほかの楽器とのコラボレーションから生まれるハーモニーが何よりの魅力。私の使っている楽器は、いまから200年以上前にイタリアでつくられたものです。多くの人々の手を経て私のもとに来てもう30年以上。とても大切な相棒です。

松井 直



## 弦楽器

びんと張った糸のことを「弦」といい、これをふるわせて、空の箱のようなもので共鳴させ音を出します。弦は細いほど、短いほど、そして、強い力で張られるほど、高い音が出ます。クラシック音楽では、木の棒に馬のしっぽの毛を張った「弓」ですって音を鳴らす弦楽器をよく使います。

写真提供：鈴木バイオリン製造所

# クラシック音楽の楽器たち

## 木管楽器

もっかんがつき

木でできた管に、息を吹き込んで音を出す「笛」のこと。管にある穴を開け閉めして音の高さを変えます。空気を振動させる方法として、くちびるや、葦の茎をうすく削った「リード」という部品を使います。金属でつくられていても、音を出す方法が同じなら、「木管楽器」の仲間です。

写真提供…ヤマハ㈱

### Piccolo ピッコロ



小さいけれど存在感のある音色

イタリア語で「小さい」という意味のピッコロ。構造はフルートとほぼ同じですが、長さは約半分短く、1オクターヴ高い音が出ます。オーケストラの管楽器で一番高い音域を担当。かわいい音色で、鳥の鳴きまねも得意です。

### Flute フルート



華麗に美しいメロディを奏でる

ジュースの瓶で音を鳴らすとくのようにして音を出す「横笛」。温かな音や固い音、豊かな表現ができます。今は金属製がほとんどですが、むかしは木製で、「縦笛」のものもありました。

ほかの楽器と比べて、高い音を吹きます。メロディを担当することも多いです。キラキラした華やかな音色が特長です。

まつき 松木さや

オーケストラでは音の高さの基準に

### Oboe オーボエ



2枚のリードをふるわせて音を出す「ダブル・リード楽器」。どこか懐かしい、温かな音色が特長です。世界各地に似た楽器があり、邦楽の筆簾や、ラーメン屋さんのチャルメラ、オーボエより低い音域が出るイングリッシュ・ホルンなど、すべてオーボエの仲間です。

オーボエ奏者は、葦の丸材から自分でリードをつくります。工作が大好きだったのでリードづくりは本当に楽しいです！  
かのうりつこ 加納律子



### Clarinet クラリネット



ソロもアンサンブルも得意

1枚のリードをふるわせて音を出す、「シングル・リード楽器」。18世紀に生まれ、広い音域が演奏できる上に、鋭く高い音から甘く豊かな低い音まで、いろいろな表情を持つため、クラシック音楽だけでなく、ジャズなどほかのジャンルでもよく使われます。

見た目は地味ですが、音域が広くそれぞれが魅力的な音色です。演奏で大変なところは、天気や会場のちがいによる湿度の変化。リードの調子を常に気にかけないといけません。

きどう 木藤みき



### Fagotto ファゴット



素朴でユーモラスな音色が魅力

「ダブル・リード」の低音楽器。全長が2.4メートルもある太い木製の管を、途中で折り曲げて、持ちやすくしてあります。頭の部分に金属の管がついていて、ここにリードを差し込んで、演奏します。その響きは力強いけれど、どこことなくユーモラスです。

音域によって二枚目からユーモラスまでキャラクターのちがいを表現できます。メロディを歌い、低音を支え、ソロもできます！

やぎうらしんじ 柳浦慎史



### Saxophone サクソフォン



曲によってオーケストラに登場

19世紀、ベルギーの楽器製作者アドルフ・サククスが発明した、新しい木管楽器。クラリネットと同じ「シングル・リード」ですが、構造的にはオーボエの性格もそなえています。ソプラノ、アルト、テナーの3種がよく知られ、くっきりしたパワーある音色が特長。吹奏楽や独奏でも活躍し、ジャズでも好んで使われます。

# クラシック音楽の 楽器たち

## 金管楽器

きんかんがつき

奏者のくちびる自体をふるわせて音を出すのが「金管楽器」。金属製の管の片端に、口を当てる「マウスピース」、もう一方に、音を大きくする朝顔形の「ベル」が付いています。ピストンなどで息が通る管の長さを変える工夫により、いろいろな音が出せるようになりました。

写真提供…ヤマハ㈱



Horn  
ホルン

金管だけれど  
木管五重奏のメンバー

シューマン (1810-56) はホルンのことを「オーケストラの魂である」と言いました。柔らかい音から力強い音まで表現できて、4 オクターブにわたる音域も魅力です。

金星 眞



細い管と大きなベルは柔らかい音を生み出し、中音域を担当します。楽器をななめにかまえて、後ろ向きになったベルに手を入れ、空気の出しかたで音の高さを変えていましたが、やがていまのように、ロータリー・バルブとよばれるスイッチで、音の切り替えができるようになりました。



Trombone  
トロンボーン

管のスライドで音を変える

「U」の形をした2本の管を重ねて1本にして、一方にベル、もう一方にマウスピースが付いています。管を出し入れして全体の長さを伸び縮みさせ、いろいろな高さの音が出せます。また、ちがった高さの音をなめらかにつないで演奏できます。男の人の声に近いテナー・トロンボーンや、それより低いバス・トロンボーン、両方の音域が出せるテナーバス・トロンボーンがよく使われます。



Trumpet  
トランペット

ファンファーレが得意

トランペットは口のまわりの筋肉をたくさん使います。なので、演奏のためにストレッチやトレーニングは毎日かせません。

谷津謙一



輝かしい音色で高い音域を担当し、オーケストラの金管楽器の中でも、中心的な存在です。もともとは1本の長い管に、マウスピースと小さなベルが付いただけの楽器でしたが、すべての音階を吹けるように管がまかれ、指で押さえるピストンなどで開け閉めできるバルブを使って、音の高さが自由に換えられるようになりました。



Tuba  
チューバ

抱きかかえるような演奏姿

一番低い音域を担当します。低ければ低いほど長い管が必要で、それをぐるぐるとまいていったら、とても大きくなってしまいました。200年ほど前からオーケストラの仲間になり、ずっしりした音で、響きを支えてきました。実は、独奏の楽器として使われることもあり、びっくりするほど、はやい曲も得意です。

## Piano ピアノ

一人で弾ける  
オーケストラ

鍵盤楽器の代表。ちがう音がするように長さを変えた多くの弦を、箱の中に張り、鍵盤と連動したハンマーでたたきます。鍵盤のたたきかたによって、強弱が自在に表現できるので、「フォルテピアノ」とよばれ、やがて、それが縮められて「ピアノ」となりました。



写真提供：ヤマハ

## Organ オルガン

厳かな音色が  
心地よい

ひとつの高さの音を鳴らす笛（パイプ）が並び、鍵盤を押すと、特定の笛に空気が送り込まれて、音を出します。むかしは人の力で風を送りましたが、今は電気じかけがほとんど。音色がちがう笛を何組もち、ホールに設置されているような大きなオルガンのほか、移動ができる小型のオルガンもあります。



石川県立音楽堂所有

## Harp ハープ

見た目も音も華やか

胴体と柱の間にたくさんの弦が張られ、少しだけ開いた扇のような形をしています。弦の列の左右に手を置いて、はじいて美しい音を出します。オーケストラで使われるグランド・ハープは、通常47本の弦と7つのペダルをもち、ペダルを1回踏むと、対応する弦が半音、もう1回で全音上がる仕組みになっています。



# その他の楽器

## クラシック音楽の 楽器たち

## 打楽器

だがつき

たたいたり、ふったり、こすったりして音を出す楽器。大太鼓や小太鼓、ティンパニのように、ぴんと張った皮などを、手や「ばち」とよばれる棒でふるわせて音を出す「膜鳴楽器」と、シンバルや木琴、鉄琴、カステネットのように、楽器自体がふるえて音を出す「体鳴楽器」に分けられます。

写真提供：(株)ヤマハミュージックジャパン



写真提供：ヤマハ

## Timpani ティンパニ

オーケストラでは最上段に

大きなお鍋のような胴体に、皮（今はうすいプラスチック製が多い）が張られた太鼓で、2本のばち（マレット）でたたきます。音域によって、大きさのちがう5種類があり、演奏する曲によって、2～5個をセットで使います。足で操作するペダルで、自由に音の高さを変えることができます。



オーケストラも吹奏楽も、打楽器は複数人で演奏することがほとんど（1人が1パートを受け持つ）に魅力を感じています。  
渡邊昭夫



写真提供：ヤマハ

ドーンという  
1音が迫力満点

## Bass drum 大太鼓

小太鼓と同じ構造の大きな太鼓で、直径は70～100センチ、深さは35～50センチもあります。ズシンと響く音で、存在感を示します。



写真提供：ヤマハ

リズムが命！  
リズムが命！

直径が35～38センチ、深さが13～20センチの円筒形の枠の両側に皮（またはうすいプラスチック）が張られ、2本のばち（スティック）でたたいて演奏します。



ここぞの  
場面で登場

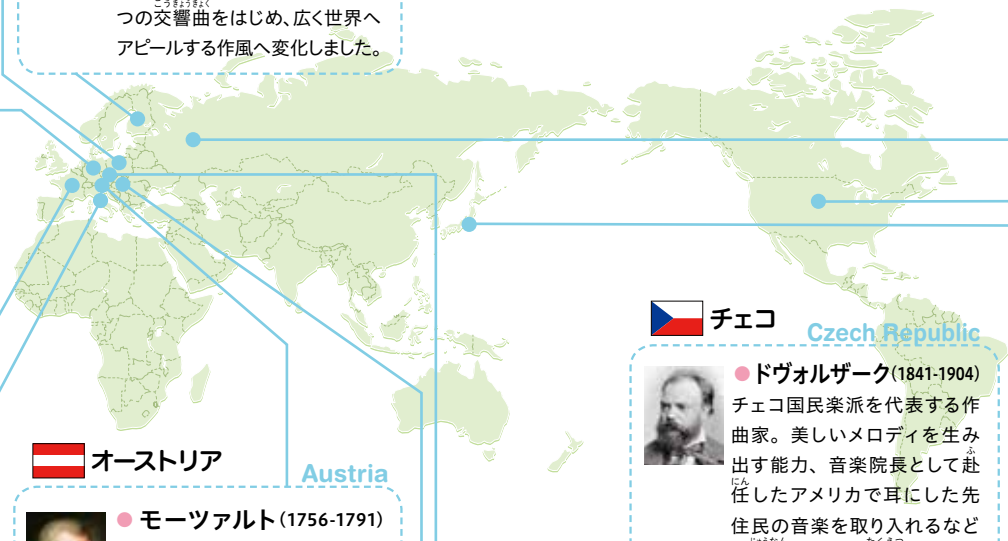
直径40～60センチの金属でできた2枚の円盤を打ち合わせて音を出します。きく人の注意を1音でひきつけてしまうほど、強い印象を与えます。

# クラシック音楽のおもな作曲家

世界地図で見よう!

クラシック音楽で有名な作曲家の、出身国をどれくらい知っていますか?

作曲家の母国をイメージしながら曲をきいてみるのもいいですね。



ドイツ

Germany



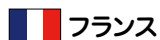
● **J.S. バッハ** (1685-1750)  
音楽の歴史の中で、「最も偉大な作曲家」といえるでしょう。美しい旋律をつくるだけでなく、それを基に曲を組み立ててゆく対位法という技術に優れ、素晴らしい作品を数多く生み出しました。



● **ベートーヴェン** (1770-1827)  
耳が不自由になるなど、数々の苦難を乗り越えて、9つの交響曲をはじめ、優れた作品を生み出しました。その音楽は驚きに満ち、神様がつくったようでもあるため、彼は「楽聖」とよべます。



● **ワーグナー** (1813-1883)  
ドイツに昔から伝わる伝説を基に、大オーケストラと多くの歌手で上演する「楽劇」とよばれるオペラ《ニーベルングの指環》をつくり上げました。全曲でなんと15時間もかかります。

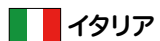


フランス

France



● **ドビュッシー** (1862-1918)  
感じたままを芸術に表現する「印象派」の作曲家です。ピアノのタッチや管弦楽法の繊細さで、濃淡をつくったり、光や陰、水面の動きを表現したりと、絵を描くように曲をつくりました。



イタリア

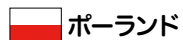
Italy



● **ヴィヴァルディ** (1678-1741)  
常に新しい発想を盛り込んだ作品で、ヨーロッパ中で名を知られた超売れっ子作曲家。教会の神父も兼ねていたため、「赤毛の司祭」とのあだ名でもよばれました。



● **ヴェルディ** (1813-1901)  
「歌劇王」ともよばれ、19世紀に花開いたイタリア・オペラ界の中心人物。《アイーダ》や《椿姫》など、今も上演される傑作を次々に世に出しました。



ポーランド

Poland



● **ショパン** (1810-1849)  
練習曲や夜想曲、ポーランド民謡を基にしたポロネーズやマズルカなど、美しいピアノ曲を数多くつくった「ピアノの詩人」。内戦のため、20歳で国を出てから2度と祖国へもどれませんでした。



フィンランド

Finland



● **シベリウス** (1865-1957)  
当初は、愛国的な姿勢で芸術活動を行う「国民主義」の作曲家として、後に、民族色を残しつつも、7つの交響曲をはじめ、広く世界へアピールする作風へ変化しました。



オーストリア

Austria



● **モーツァルト** (1756-1791)  
父親から英才教育を受け、6歳ごろから作曲家やピアニストとして活躍。ヨーロッパ中をまわり、「神童」とよばれて、大人気になりました。いまでも愛される名曲をたくさん残しています。



● **シューベルト** (1797-1828)  
《美しき水車小屋の娘》《冬の旅》《白鳥の歌》の三大歌曲集をはじめ、わずか31年の生涯のうちに約600曲もの歌曲（リート）を作曲。「歌曲の王」とよべます。



チェコ

Czech Republic

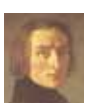


● **ドヴォルザーク** (1841-1904)  
チェコ国民楽派を代表する作曲家。美しいメロディを生み出す能力、音楽院長として赴任したアメリカで耳にした先住民の音楽を取り入れるなどの柔軟な発想、卓越した構成力も持っていました。



ハンガリー

Hungary



● **リスト** (1811-1886)  
超絶技巧を駆使してヨーロッパ各地を沸かせた人気ピアニストで、「ピアノの魔術師」ともよばれました。新しい技術やハーモニーを盛り込んだ、独創的なピアノ曲や管弦楽曲などをつくりました。



ロシア

Russia



● **チャイコフスキー** (1840-1893)  
甘く美しいメロディを生み出す卓越した能力に加えて、洗練された西欧音楽と、ロシア独特の民族的な要素を上手に混ぜ合わせる、優れたバランス感覚を持っていました。



● **ラフマニノフ** (1873-1943)  
ピアニストとして大成功し、主に自分で演奏するために作曲しました。これらのピアノのための独奏曲や協奏曲は、チャイコフスキーの伝統を受け継ぎ、ロマンティックで、ときに感傷的です。



アメリカ

USA



● **ガーシュウィン** (1898-1937)  
ピアノと管弦楽のための《ラプソディ・イン・ブルー》を1924年に作曲し、ジャズの手法とクラシックの演奏法を結び付けました。クラシックに留まらず、オペラやミュージカルも手がけています。



日本

Japan



● **武満 徹** (1930-1996)  
1950年代から最先端の技法を取り入れた活動を開始し、現代音楽の世界をけん引。琵琶と尺八と管弦楽のための《ノヴェンパー・ステップス》をはじめ、その作品は世界中で上演されています。

Photo: Schott Music Co. Ltd., Tokyo



石川県立音楽堂コンサートホール

## 石川県立音楽堂

クラシック音楽と邦楽の両方を本格的に楽しめるホールとして、2001年に開館しました。石川で生まれ育ったオーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の本拠地になっています。コンサートホール、邦楽ホール、交流ホールの3つのホールを備え、クラシックコンサートが行われるコンサートホールには、荘厳な響きをもつパイプオルガンもあり、さまざまな編成のコンサートが行われています。音の迫力や美しさなどをぜひ体験してみてください。

〒920-0856 石川県金沢市昭和町20番1号(JR金沢駅兼六園口)

☎ 076-232-8111

音楽堂チケットボックス(石川県立音楽堂1F)

☎ 076-232-8632

石川県立音楽堂 検索



# コンサートへ 行こう

ホールでしか味わえない楽しみ!

CD やインターネットで手軽に好きな音楽をきけるのに、どうして

コンサートはなくならないのでしょうか。それは、ホールでしか

味わえない「生の音楽」ならではの楽しみがあるからです。

同じ曲でも同じ演奏は存在しない

アメリカの発明家、トーマス・エジソンが蓄音機を発明したのは、約140年前。それまで生まれてすぐ消えていた音が、記録できるようになりました。さらに、録音や再生の技術は発達し、いまではCDなどをきけば、目の前で演奏しているかのように、リアルな音楽が楽しめます。録音された演奏ももちろんよいのですが、コンサートホールできく演奏には、CDのように同じもののくり返しはありません。生できく音楽は、毎回ちがうことも楽しみのひとつ。たとえ

同じ曲を演奏していても、速さや強弱の付けかたなど、音楽の感じかたすべてが異なります。同じ人の演奏でも、コンサートによつてはまったくちがう、ということも、よくあります。また、ホールの客席では、演奏する人の息づかいや表情も、とてもよく分かります。ほかに、音の振動を肌で感じることもできたり、観客の興奮が伝わってきたり、コンサートでしか味わえない楽しみは、まだまだたくさんあります。あなたもぜひ、実際に出かけて、発見してください。

## コンサートへ行こう

### コンサートの前に

コンサートに行こう!と思ったら、どんなことが必要になるでしょう?  
チケットの買いかたや当日着ていく服など、  
ちょっとなやんでしまうことについて、お教えします。

#### チケットを買おう

インターネットや専門の雑誌には、これから開かれるコンサートの予定が載っています。どれをききたいかが決まったら、チケットを買いましょう。

石川県立音楽堂には「チケットボックス」という場所があり、好きな席のチケットを選んで、買うことができます。会員になると、インターネットで予約もできます。また、「プレイガイド」とよばれるお店で買ったり、チケット専門サイトでインターネット予約し、コンビニでチケットを受け取ったりもできます。

#### どんな服装がいい?

とても汚れているなど、ほかの人をいやな気持ちにさせない限り、特別な服装は必要はありません。ただ、ヨーロッパのコンサートでは、女性がドレス、男性がタキシードを着るなど、めいっぱいのおしゃれを楽しむ人をよく見かけます。石川県立音楽堂でも、着物で来る女性の姿がありますよ。

せっかくですから、みなさんも普段とはちがった、おしゃれをして出かけてみてはいかがでしょう。これも、コンサートの楽しみかたのひとつなのです。

## さあ、会場に入ろう



### 会場についたら

いよいよコンサート当日。いざ会場についてから、コンサートが始まるまでにどんな過ごし方があるか、石川県立音楽堂を例に、ひやくまんさんとたどってみましょう。

#### 当日券を売っています

もし、演奏会の当日になって、チケットを持っていなくても大丈夫。売り切れていない場合には、「当日券」が発売されます。急に時間ができて、ききたくなったときには、とてもいいですね。

石川県立音楽堂では、「チケットボックス」で買うことができます。金沢駅側の玄関<sup>げんかん</sup>入って、プロムナードという廊下<sup>ろうか</sup>をまっすぐ歩くと、右側に青いカウンターが見えてきます。



#### 時間があれば、カフェで休けい



ほとんどのコンサートホールには、開演前や休けい時間をゆっくり過ごすためのカフェ・コーナーがあります。

石川県立音楽堂にも「カフェ・コンチェルト」があり、コーヒーや紅茶、ジュースなどの飲み物やアイスクリーム、サンドウィッチなどの軽食も楽しめます。ただし、コンサートの途中でトイレに行きたくないように、水分はひかえめを心がけましょう。

## 公演中のマナー

いよいよ楽しみにしていた演奏。

客席にいる人たちがみんなが、気持ちよく演奏をきくためには、  
どんなことを守ったほうがいいか、考えてみましょう。



### 音の出るものは要注意!!

携帯電話の電源はオフに

携帯電話を持っている人も多いでしょう。演奏が始まる前に必ず、電源を切るようにしましょう。ホールでの着信音は、普段よりもずっと大きく響いて、迷惑をかけるだけでなく、ときには演奏を止めてしまうこともあります。ほかにも、ビニール袋などガサガサ音の出るものはかばんにしまっておきましょう。

### おしゃべりは禁止

「いい音楽だな」と感じたら、ついつい誰かに伝えたいくなるもの。でも、演奏中は我慢。おしゃべりはほかの人の迷惑になりますから、厳禁です。そのかわり、コンサートが終わったら、感想をいっぱい話し合しましょうね。

### コンサート中に咳が止まらない

咳が我慢できなくなることも、あるかもしれません。そんなときは、ハンカチを口に当てて、できるだけ音が響かないようにしましょう。客席は飲食禁止ですが、アメくらいなら OK。開演前になめて、予防するのもいいでしょう。

### 拍手のタイミング

音楽家にとって、最高の贈り物は拍手です。素敵な演奏には、大きな拍手をしましょう。『ブラボー!!』と声をかけるのも、いいですね。ただし、音楽の響きが完全に消えたと思っても、まだ曲の途中だったりすること。オーケストラ公演の場合は、指揮者が指揮棒を下ろし、客席のほうを向いたら演奏が終わった合図と覚えておくといいですね。

## いざ、ホールへ

## コンサートへ行こう

ホールに入れるのは、開演の30分～1時間前。  
チケットを見せて入口を通ったら、半券に書いてある座席番号で、自分の席を確認します。石川県立音楽堂の座席は、列ごとに前から、そして、舞台に向かって左から、順番に付けられた2つの番号で示されています。確認が済んだら、チケットはなくさないように、しまえます。そして、演奏中には席を立てないので、トイレを済ませておきましょう。



※傘は客席内へ持ち込むことができないので、傘立てを利用しましょう!

### 荷物は預けられます



大きな荷物を持ったままホールの席に座ると、まわりの人に迷惑がかかりますね。また、冬に着る分厚いコートは音を吸ってしまい、ホールの響きに影響を与えることも。こんなときは、ロビーにある「クローク」に預けましょう。預けた荷物のかわりに番号札をわたされますから、なくさないようにしましょう。帰るときにクロークへ行き、この番号札をわたすと、荷物を返してもらえます。

### さあ、始まるよ!

開演の時間が迫ると、チャイムやベルが館内に流れて、教えてくれます。トイレは済ませたか、もう一度、ここで確認。自分の席に行くとき、先に座っている人の前を通らなければならない場合には、足を踏んだり、当たったりしないように気を付けます。このとき、「失礼します」など声をかけるのが、エチケット。席に座ったら、静かに開演を待ちましょう。帽子も取っておくといいですね。



ひやくまんさん、  
ご案内ありがとうございました♪

More Enjoy!!

もっと!クラシック

石川県では、子どもや初心者にもっとクラシック音楽に親しんでもらうため、さまざまな取り組みをしています。

### いしかわミュージック アカデミー (IMA)

国内外の有名な講師を招き、世界で活躍する若手音楽家を育てることを目的に、1998年から毎年開催しています。期間中には、県内各地で受講生によるミニコンサートを開催するなど、地域との音楽文化交流活動も活発に行っています。

### 石川県ジュニアオーケストラ

1994年に結成された、県下の児童・生徒が熱心に取り組むオーケストラです。毎年1回、定期演奏会を開催し、OEKやOEKエンジェルコーラスとのジョイントコンサートも行っています。団員は、小学4年生から高校3年生で、月1〜2回の練習に参加できる人を募集しています。

### OEKエンジェルコーラス

1997年、ウィーン少年合唱団金沢公演での共演をきっかけに結成され、OEKとの共演を中心に活動しています。明るく澄んだ歌声に定評があり、さまざまなイベントに出演。団員は小学2年生から高校3年生で、週に1回程度練習できる人を募集しています。

奏する人に教えたり、CDの録音を行ったりと、いろいろな活動に取り組んでいます。OEKは、日本各地のオーケストラと同じどころか、それ以上に、世界中から注目を浴びているのです。

### オーケストラ・アンサンブル 金沢

愛称：OEK

設立：1988年

拠点：石川県立音楽堂

音楽監督：井上道義

永久名誉音楽監督：岩城宏之

プリンシパル・ゲスト・コンダクター：  
マルク・ミンコフスキ

#### おもな定期公演

- フィルハーモニー・シリーズ  
OEKのレパートリーを楽しめる定番シリーズ
- マイスター・シリーズ  
趣向を凝らしたプログラムが魅力のシリーズ
- ファンタスティック・オーケストラ・コンサート  
音楽のジャンルをこえたコンサート・シリーズ

OEK

検索

# 石川県が誇る オーケストラ

熱心な音楽をお届け!

石川県から世界へ!

## オーケストラ・アンサンブル金沢

「オーケストラ・アンサンブル金沢 (OEK)」は1988年、世界的指揮者だった岩城宏之さん(1932〜2006)の提案により、日本で初めてのプロの室内オーケストラとして、石川県と金沢市が設立しました。約40人のメンバーには、日本人だけでなく、多くの外国人もいて、「ほかの日本のオーケストラにない、ヨーロッパのような独特の響きがある」ともいわれています。

OEKの最高責任者は、

「音楽監督」です。岩城さんは最初の音楽監督になり、2007年からは、井上道義さんが務めています。JR金沢駅近くの石川県立音楽堂を本拠地にして、世界中の演奏家と共演する定期公演を開いたり、日本各地へ演奏に出かけたりして、毎年、約100公演を行います。また、海外でも公演して、高い評価を受けています。

ほかにも、小さな子どもや小中学生のみなさんに音楽の楽しさを伝えたり、楽器を演



# クラシック音楽の 名曲 20

これだけはきいておきたい!

むかしから今にいたるまで、多くの人に気に入られ受け継がれている、数々のクラシック音楽。どの曲が名曲かとはい、決められるものではありませんが、この曲を最初にきいたらいいですよ、という曲はあります。そんな曲の中から 20 曲を選びました。

## ピアノ曲

### リスト

#### パガニーニによる超絶技巧練習曲第3番(ラ・カンパネラ)

題名は「鐘」を意味。主題が描写する鐘の音は、ピアノの超絶技巧が激しさを増すほど、大きく響きわたります。

## ピアノ曲

### ドビュッシー

#### ベルガマスク組曲(第3曲:月の光)

繊細なピアノの音で、レースのカーテンのように差し込む月の光を表現。温かく、少し切ない気分させます。

## オペラ

### ワーグナー

#### 楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》

16世紀のドイツ、歌のうまさを競う“歌合戦”の物語で、管弦楽の分厚い響きと、輝かしい歌声が印象的です。

## オペラ

### ヴェルディ

#### オペラ《アイダ》

敵対する国に生まれた、男女の悲しい恋の物語。合唱で歌われる「凱旋の行進曲」は、サッカーの応援歌として有名です。

## 声楽曲

### モーツァルト

#### レクイエム

35歳で亡くなるまで、書き続けた美しい作品。結局、未完成に終わりましたが、弟子が書き継いで、演奏できる状態にしました。

## 声楽曲

### シューベルト

#### 歌曲集《冬の旅》(第5曲:菩提樹)

さまよう青年を描いた、24曲の歌からなる《冬の旅》。第5曲で、彼は門前の菩提樹に安息の場を見つけます。

## 協奏曲

### ラフマニノフ

#### ピアノ協奏曲第2番

ロシア音楽特有のロマンティックで甘い旋律に、独奏ピアノの超絶技巧が交わり、独特の響きをつくり上げます。

## 室内楽曲

### シューベルト

#### ピアノ五重奏曲《ます》

第4楽章で、歌曲《ます》のメロディを引用。ぴちぴちと飛びはねながら、泳いでゆく魚の姿が思いうかびます。

## 室内楽曲

### ドヴォルザーク

#### 弦楽四重奏曲第12番《アメリカ》

作曲者が、故郷ボヘミアと、滞在先のアメリカで耳にした旋律を融け合わせてつくった傑作。懐かしい響きがします。

## 器楽曲

### J.S. バッハ

#### 無伴奏チェロ組曲第1番

前奏曲に6つの踊りの曲が連なり、旋律と伴奏を1人で演奏。“チェリストの聖書”とよばれるほど重要です。

## 器楽曲

### ベートーヴェン

#### ヴァイオリン・ソナタ第5番《春》

雰囲気は、まさに「春」。小川の流れるようなピアノの旋律の上を、蝶のようなヴァイオリンが舞い飛びます。

## ピアノ曲

### ショパン

#### 幻想即興曲

ピアノの鍵盤をいっぱいに使う激しい部分と、夢見るような優しい部分とのコントラストが印象的な作品です。

## 管弦楽曲

### チャイコフスキー

#### 組曲《くるみ割り人形》

もともとは、パレエの伴奏のための曲。「金平糖」や「花」が、各楽器の音色のちがいをを使って、色鮮やかに表現されます。

## 管弦楽曲

### シベリウス

#### 交響詩《フィンランディア》

困難に立ち向かい、勝利するまでを描写。作曲当時、ロシアの圧政に苦しんでいた祖国の人々を勇気づけました。

## 協奏曲

### ヴィヴァルディ

#### 四季

「春」「夏」「秋」「冬」の4つの協奏曲で構成。鳥の声、氷ですべて転ぶ様子など、音で細かな描写をします。

## 協奏曲

### J.S. バッハ

#### ブランデンブルク協奏曲

楽器の組み合わせを変えた、6つの協奏曲で構成されます。曲ごとに趣向が凝らされ、雰囲気もまったくちがいます。

## 交響曲

### モーツァルト

#### 交響曲第40番

最初の1音から、天才が背負った孤独な悲しみがかけめぐり、天国のような美しさとともに、胸をしめつけます。

## 交響曲

### ベートーヴェン

#### 交響曲第9番《合唱》

「第九」の名で知られます。交響曲に声楽を使い、主題に「人類愛」をかかげたのは、作曲当時、画期的なことでした。

## 交響曲

### シューベルト

#### 交響曲第7番《未完成》

未完成になった理由は不明です。しかし、深い悲しみと、温かい安らぎに満ちた2つの楽章は、心にしみわたります。

## 交響曲

### ドヴォルザーク

#### 交響曲第9番《新世界から》

「新世界」はアメリカのことで、第2楽章は『家路』として有名。先住民の歌の断片が織り込まれ、郷愁を誘います。

## クラシック音楽鑑賞ノート

コンサートに行ったら、どんなプログラムで、どんなメロディが心に残ったか、あるいはどんな演奏<sup>えんそう</sup>だったかなど、思ったことや感じたことをメモしてみましょう。メモをすることで、自分はどんな曲や演奏が好きなのか、知ることができるでしょう。

年	月	日	コンサート名
印象に残ったところ、感想			

年	月	日	コンサート名
印象に残ったところ、感想			

年	月	日	コンサート名
印象に残ったところ、感想			

年	月	日	コンサート名
印象に残ったところ、感想			

発行 ● (公財) いしかわ県民文化振興基金

[事務局] 石川県県民文化局文化振興課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1 TEL: 076-225-1372

執筆 ● 寺西 肇 (音楽ジャーナリスト) 監修 ● (公財) 石川県音楽文化振興事業団

編集・制作 ● (株) スプートニク、(株) ひとま舎 デザイン ● 磯辺加代子 印刷 ● (株) 邦友

楽器写真提供 ● 鈴木バイオリン製造 (株)、ヤマハ (株)、(株) ヤマハミュージックジャパン

平成29年2月発行